

学校運営計画 (4月)			評価(3月)		
学校運営方針	社会に有用な人材を育成するため、基礎・基本を重視し、勤労の貴さを知り、心身ともに豊かでたくましい生徒の育成を図る。				
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標			
令和元年度は、生徒の状況把握に積極的に努め、学習指導、生徒指導に生かすことができた。その結果、落ち着いた雰囲気や学習活動や生徒会活動に取り組むことができた。また、生徒の「夢の実現」に対し、きめ細かな指導を行うことができ進路指導の充実が図れた。 基礎的・基本的な知識及び技能を取得させるために、生徒の興味・関心のある事項に視点を置いた授業展開するなど確実な習得を図る。また、特別な配慮を必要とする生徒への指導を図るための手立てを充実させる。	校訓である「克己・盡力・楽天」の実践的態度を養うとともに、昨年を引き続き「働きながら学ぶ」生徒たちの「夢の実現」を支援する。 キャリア教育の充実を図り、未来に向けて自分の人生やより良い社会を切り拓くことのできるような「志の育成」に努める。 総合的な学習の時間、総合的な探求の時間、道徳教育の内容の充実を図り、「まごころの道」をとおして、生徒一人一人に豊かな心を育て、品位品格を持った凛とした生徒の育成に努める。 習熟度別授業、TTによる授業をはじめ、個に応じた指導の一層の充実や学校生活への適応を図るとともに、共感的な人間関係を醸成して中途退学者及び不登校生徒の減少に努める。 学校広報誌の内容充実を図るとともに、積極的に活用し生徒、保護者、地域、中学校への広報活動を推進する。	○きめ細かな指導により生徒の基礎学力の充実に努め、確かな学力の定着を図る。 ○規範意識やマナーの向上に努め、生徒の健康を守り、校内環境の維持を図る。 ○キャリア教育を推進し、望ましい勤労観、職業観の育成を図る。 ○自立的な職業選択ができるよう、関係諸機関と連携し、情報を提供する。 ○総合的な学習の時間や総合的な探求の時間、HR活動を通して、いじめの撲滅に向けた指導を継続する。 ○自分の大切さとともに他人の大切さを認めることができる生徒の育成に努める。 ○道徳教育と人権教育を全教科・全領域で推進し、充実を図る。 ○習熟度別指導や個別指導をより一層工夫し、学ぶ意欲と出席率の向上につなげる。 ○生徒の実態を把握し、授業改善に取り組み、中途退学防止に努める。 ○生徒会や委員会活動の活性化を図り、自主的運営による学校行事の充実を図る。 ○学校通信「NIGHTSCHOOL楽天」の発行等、積極的に広報活動を行う。 ○学校ホームページ内容の更新を積極的に行い、新しい情報提示の充実を図る。			
	評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)	
	学校運営	学校運営方針具現化のために、主任主事を中心に組織的機能的に校務を遂行する。 必要な情報を全職員で共有し、共通認識を持って毎日の教育活動に取り組む。	各分掌の目的管理の指導・助言・振り返りを適切に行い、課題意識を高める。 全職員が授業や学校行事の改善に取り組み、工夫や成果を共有できる機会を設ける。 日頃から職員間のコミュニケーションを密にし、諸課題に組織的・迅速に対応する。 定期的な情報交換により、個々の生徒が抱える課題等について情報共有を図る。 登校指導や校内巡視を行い、生徒の変化に対し迅速に対応できる組織づくりを行う。 校務運営委員会や職員会議で課題を共有し、全職員で問題解決に取り組む。		次年度の主な課題
	教科指導	学習意欲の喚起と学力向上 出席率の向上	きめ細やかな指導を行い基礎学力の向上に努め、確かな学力の向上を目指す。 「学ぶ喜び」を通じて「達成感」を育成するために授業の改善を図る。 言語活動の充実及びICTの活用による授業改善に努める。 担任と生徒・保護者の意思疎通をはかり、信頼関係を確立する。 教科担任による個別指導を行うとともに、担任との連携により出席を促す。 長期欠席・中途退学防止のため早期から保護者及び関係機関との連携を図る。		
	生徒指導	生徒会・部活動への積極的参加による豊かな心の育成 快適な学校生活を保つための安全指導体制の確立と危機管理の徹底	生徒の発案を尊重し、生徒会行事を生徒自身で運営できる能力を育成する。 校内の美化活動など生徒の自主的な取組を、全生徒の規範意識の向上につなげる。 生徒会行事では、世代を超えた生徒間の人間関係を育ませ、豊かな心を育成させる。 登校指導時に挨拶や声掛けを行うことで生徒の細かな変化を把握する。 計画的な交通安全指導を行い、事故の防止とともに命の大切さを認識させる。 教室の整理整頓、清掃活動による環境整備を行い落ち着いた学習に専念させる。		
進路指導	適切な進路選択ができる情報提供と環境作りを行う。 自己肯定感を高めさせ、進路意識の高揚につなげる。	個人面談で自己の課題を把握させ、職場と学校との両立を援助する。 進路希望調査を行い、生徒の進路希望を把握し、適切な指導・助言を行う。 ハローワークの情報を随時紹介し、仕事の厳しさを理解させ早期の取組を促す。 生徒が社会性や自分の生き方について考える機会として進路講演会を年四回実施する。 就職・アルバイト先の開拓に努め、生活の基礎づくりを援助する。 ハローワーク等と連携し、就職ガイダンスを行うことにより、進路意識の高揚を図る。			
保健健康・安全	健康で自立した社会生活を送るための、健全な生活習慣の確立と心身の自己管理能力の育成 環境美化や保健・安全・衛生に関する意識の高揚と改善	「健康の手引き」での健康診断の主體的受診と事後指導を徹底する。 睡眠、食事、ストレスなどに対する健康指導を行う。 性に関する講演会、食育教室を実施し、正しい情報・知識の伝達に努める。 保健委員会の日常における保健や給食の活動を推進する。 生徒保健委員会の研修会での発表内容の充実とその活用を工夫する。 食生活などへの関心を育てるとともに、給食全般の改善に努める。			
庶務・研修	教職員の資質や能力を高めるための充実した職員研修を実施する。 よりよい学習活動のために指導方法と授業内容の改善に努める。	効果的な職員研修会を実施し、教職員の資質・能力の向上を図る 校外で催される研修会に対し、積極的な参加を働きかける。 校外研修で得たものを還流し、職員間で情報の共有化を図り、研修を深める。 個に応じた指導方法についての研修会を実施し、生徒のよりよい学習活動に生かす。 生徒の実態に応じた指導方法、授業内容を探る研修を行い授業改善に活かす。 生徒一人一人に応じた指導方法について職員間で情報を共有し授業改善を図る。			